
俺、チートですが、巻き込まれます。

奏

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺、チートですが、巻き込まれます。

【Nコード】

N5270V

【作者名】

奏

【あらすじ】

俺はチートな人間ですが、色々詐欺って平和な生活をまあまあ手に入れていたけど、主人公体質なただの大バカ野郎のせいで喧嘩に巻き込まれるのは日常茶飯事。それでも、どうにか心のよりどころを得ながら生活していたのにそいつのせいで異世界に巻き込まれ召喚されました。この話は気まぐれに思いついたのでどう話が進むかわからないので、心を広くもって気長に読んで下さると嬉しいです。

俺の日常ぶっ壊れてます(前書き)

誤字、脱字がありましたら、教えて下さると幸いです。

俺の日常ぶっ壊れてます

俺にとつてのごくありふれた平日。

「うわあああつ、ま、茉莉まつりいいいい！！ごめんなさい、助けて下さい、お願いしますっ 茉莉様っ」

のんびりと朝の清々しい空気に浸りながら登校している最中に後ろから見知った人物の叫び声が響いた。

一気に清々しさがぶち壊されたので、不機嫌オーラを隠しもせず振り向くと、俺の冷ややかなオーラとアイツの声で気付いた登校中の生徒が速やかに距離をとってそれでも進む足を止めず、そそくさと校門をくぐって行く。

……………よく理解できた奴らだと思うよ、全く。

登校している最中の生徒にとりあえず、校内にいる教師を呼ぶように頼んで、俺のところまで走ってきたアイツの前にすっと片足を出すと勢いよくこけるが地面とキスする前に持ち前の運動神経を発揮して、態勢を立て直す。

「チッ、甘かったか」

「ちよ、酷く「何か言ったか？」……いえ、何でもないです。はい、茉莉様」

満面の絶対零度の氷の笑みであいつの言葉を遮ると、乾いた笑みを浮かべながら制服を調える。

「で、今朝はなにをした？」

「と、隣町の不良に追っかけられています」

「チッ 何人」

「じゅ、十人前後」

はあ…とため息をこぼして俺の真正面を走ってきた一番前の不良一号に教科書や辞典の入った何気に中々重い鞆をブン投げると、綺麗に顔面にクリーンヒットし、倒れると同時に鞆は宙を舞う。

驚いて動きを止めた奴らのところまで体制を低くしたまま走りこみ、思いつきり鳩尾に蹴りや拳を入れていく。……………そして、十二人いた奴らを鞆が落ちてくる約20秒で倒しました。　　おわり　　まる
「終わったぞ？」

「さ、流石、茉莉！　マジでありがとう」

花が咲くような王子スマイルで言う友人に鼻を鳴らして答えて俺は早々に校門をくぐる。

俺とすれ違いざまに、何人かの教師とアイツがド天然で落とした女子生徒があいつの元に走り寄っていく。

その際に俺に声をかける奴がいなかったから、連絡を頼んだ生徒がアイツだけ不良に絡まれたと言う事にして、教師を呼んだんだろう。　　アイツの取り巻き（アイツに惚れた女どもと成績優秀だからと持ち上げる教師ども）以外はホントまともな生徒達でよかったよ。

とりあえず、自己紹介をしようと思う。

俺の名前は獅子那岐　茉莉。

性別は男。年齢は17歳。　　れっきとした高校生。

腐れ縁でしかない主人公体質の成績優秀、運動神経抜群（但し喧嘩不可）、容姿端麗な飯田　翼のせいで、色々と巻き込まれるため、売られた喧嘩は買う主義だが普通の高校生だと思う。

成績も運動もテキストにやっているから学校からは注目されないし、容姿もぶっちゃけるとアイツと同等のイケメンに入るが、アイツ見たく逆ハ―を目指してるわけじゃないので色々工夫を重ねて平凡に仕立て上げました。

つまりは、本来の俺はその腐れ縁のバカ並に成績優秀、運動神経抜群（喧嘩可）、容姿端麗と言っなかなかチートな奴だが、平和を好んでいるので、色々と詐欺って学生しています。

ああ、あと、ちょーっと心臓が悪い人には言えない俺にとっては天職以外何物でもないバイトをしています。

そんな俺の日常は前半部分でもわかるとおり、平日の半分はあいつ

のせいでゴタゴタに巻き込まれているので、とりあえず、教師らにバレないように一人もしくは楽しそうだからと俺についてくる学校のいや、ここいらを治めいている最強の不良グループと組んで裏でそのゴタゴタを処理している。

表では族やらウラ家業に絡まれた女の子を助けたとかで俺を巻き込んだ張本人は崇められて、そいつに付いたあだ名は“勇者”んで、裏で飛躍して色々と潰している俺はアイツとかけてなのか分からないが“魔王”と呼ばれている。

まあ、裏で動いているときは表の俺と分からないようにここでも詐欺つてるからアイツといなければまあまあ平和な生活を送れていたりする。

これが俺のここでの生活。

もちろんちゃんとした友達もいるが、あいつのせいで巻き込まれかねないので自ら避けるよう頼んでいるので、直接遊んだりはできないが、俺の心の支えとなっている。

まあ、俺と遊ぶのは最強の不良グループぐらいだ。

もちろん普段の俺と遊ぶときはあいつ等も普通の青年に化けてくれる物分りのいい奴らだからやっぱり平和にバカ騒ぎができる。

つまりは、翼さえ俺にかかわらなければ、俺は平和でフツーだと思う学生生活を送り、平々凡々な大人になっていたわけで……。

ホント、何回殺してやろうと思った事か。

でも、あいつのせいで犯罪者になるとか色々と勘弁だから実行はしないけど、頭の中では何百回も暗殺計画を立てましたよ、ええ、そりゃーもう、えげつないのから普通のまで大量に。

本にしたらマニアックな人たちから賞賛を浴びるんじゃないかってくらい。

しかし、今回以上に殺意を覚えた事はないね。

つかさ、何でよ。

俺、何かした？本当。

なんで俺まで異世界召喚されなくちゃならないのさっ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5270v/>

俺、チートですが、巻き込まれます。

2011年11月13日18時49分発行